

まちの借金

学校や公園などの施設の建設には多額の経費がかかるため、市は、国や銀行などからお金を借りています。借り入れたお金の返済を通して将来の利用者にも公平に負担していただいています。

市が借りているお金 (市債)	
一般会計	358億5,947万円
特別会計	2億5,161万円
公営企業会計	284億4,661万円
合計	645億5,769万円

平成23年度の決算は、経費の節減や創意工夫、業務の見直しなどの結果、一般会計・特別会計・公営企業会計は、いずれも黒字決算となりました。しかし、国内の景気の動きは引き続き不透明な状況で、少子高齢化が進む中、歳出面では生活を支える社会保障費用の増額が見込まれることなどから、市の財政は、これからも厳しい状況が続くと考えられます。市は、「財政標準化計画」により収支のバランスを維持しながら、今後も安定したサービスの提供と持続可能なまちづくりを目指した財政運営を進めます。

特集記事のお問い合わせ
総務部財政課財政係
 ☎(24)0541

※決算状況などは市のホームページ「市の組織と仕事」-「財政」のページに掲載しています。

土地と建物

財産区分	土地	建物
行政財産	1,174万9,188㎡	46万3,965㎡
公用財産	143万 232㎡	5万2,276㎡
公共用財産	1,031万8,956㎡	41万1,689㎡
普通財産	255万6,434㎡	1万4,030㎡
合計	1,430万5,622㎡	47万7,995㎡

公用財産：市役所など市が直接使用する財産
 公共用財産：学校、公園など市民が使用する財産
 普通財産：公用財産・公共用財産以外の財産

有価証券(株券など)	35億 130万円
出資による権利(法人への資本金出資など)	4億 6,574万円
基金(まちの貯金)	87億 6,055万円

財産の維持や資金の積み立て・運用のため、目的別に17の基金を設けています。

- 公共施設整備基金 ○財政調整基金 ○奨学基金 ○農業振興基金
- 国民健康保険事業財政調整基金 ○土地開発基金 ○減債基金
- みんなて、ひと・まちづくり基金 ○ふるさと千歳国際交流基金
- 地域福祉振興基金 ○霊園管理基金 ○職員退職手当基金
- 介護保険事業給付準備基金 ○特定地域振興基金 ○心のふるさと千歳基金
- 介護従事者処遇改善臨時特例基金(平成23年度末で廃止)
- 特定防衛施設周辺整備調整交付金基金(平成23年度に新設)

まちの財産

市は、市政を進めていくうえで必要な財産を持ち、目的にあわせて効率的な運用をしています。財産には、**公園などの土地、学校などの建物、有価証券、出資による権利、基金**があります。

財政健全化を判断する指標

「財政健全化法」により、まちの財政状況を表す5種類の指標のうちひとつでも国が決めた基準を超えたまちは、財政再建に向けた計画をつくるなどの取組を進めることとなります。**平成23年度の市の決算では、基準を超える指標はひとつもなく、財政は健全な状況**といえます。

指標	指標の説明 ※数値が大きいほど 財政運営が厳しい状態	市の 比率	国が決めた基準		
			早期健全 化基準	財政再 生基準	
健全化判断比率	実質赤字比率	「市の財政の標準的な大きさ」に対する「公営企業会計を除いた赤字の総額」の比率	黒字決算	12.49%	20.0%
	連結実質赤字比率	「市の財政の標準的な大きさ」に対する「公営企業会計を含む市全体の赤字額」の比率	黒字決算	17.49%	30.0%
	実質公債費比率	「国の補てん分を除いた市の財政の標準的な大きさ」に対する「公営企業を含む借入金の年間返済額」の比率	11.3%	25.0%	35.0%
	将来負担比率	「国の補てん分を除いた市の財政の標準的な大きさ」に対する「将来負担する借入金の総額」の比率	83.1%	350.0%	
資金不足比率(公営企業ごと)	「公営企業の資金不足額」に対する「公営企業の事業規模」の比率	該当会計なし	20.0%		

② 特別会計

市には、**6つの特別会計**があり、予算の範囲内でそれぞれの事業をやりくりしています。

種別	歳入	歳出	差引
国民健康保険特別会計 (国民健康保険事業を運営するための会計)	86億4,842万円	83億 545万円	3億4,297万円
土地取得事業特別会計 (公共施設用地をあらかじめ取得するための会計)	3,561万円	3,522万円	39万円
公設地方卸売市場事業特別会計 (公設地方卸売市場を運営するための会計)	5,012万円	4,996万円	16万円
霊園事業特別会計 (霊園の用地取得や管理運営のための会計)	1億 566万円	1億 561万円	5万円
介護保険特別会計 (介護保険事業を運営するための会計)	34億2,946万円	34億2,922万円	24万円
後期高齢者医療特別会計 (75歳以上の方などの医療保険制度のための会計)	7億2,151万円	7億1,669万円	482万円
合計	129億9,078万円	126億4,215万円	3億4,863万円

③ 公営企業会計

市には、**水道事業、下水道事業、病院事業**の3つの公営企業会計があります。決算の状況はつぎのとおりです。

病院事業

業務の状況

市民病院

- 入院…55,289人(151人/日)
前年度に比べて1,208人、1日平均3人増加しました。
- 外来…166,262人(681人/日)
前年度に比べて1,040人、1日平均7人減少しました。

泉郷診療所

- 外来…846人(6人/日)
前年度に比べて40人増加しました。

支笏湖診療所

- 外来…871人(4人/日)
前年度に比べて69人増加しました。

決算の状況

収益的収支の決算	
収入	54億 8,544万円
支出	53億 1,521万円
資本的収支の決算	
収入	1億 9,455万円
支出	6億 5,273万円
内部留保資金残高 17億 1,002万円	

下水道事業

業務の状況

- 排水戸数…38,062戸
市が下水道の処理をしている建築物の戸数。前年度に比べて500戸減少しました。
- 総処理水量…18,881,033m³
市が下水道で処理した下水の総水量。前年度に比べて約0.2%減少しました。
- 有収水量…13,625,095m³
総処理水量のうち、下水道使用料収入が得られる水量。前年度に比べて約0.8%減少しました。
- 有収率…72.2%
下水道の総処理水量のうち有収水量の割合で高いほど良好な指標。前年度に比べて約0.5%減少しました。

決算の状況

収益的収支の決算	
収入	25億 2,419万円
支出	23億 7,972万円
資本的収支の決算	
収入	13億 7,838万円
支出	24億 6,795万円
内部留保資金残高 13億 11万円	

水道事業

業務の状況

- 給水人口…93,465人
市が水道で飲料水を供給している人の数。前年度に比べて374人増加しました。
- 総配水量…11,845,915m³
飲料水として浄水場から送り出された総水量。前年度に比べて約0.4%減少しました。
- 有収水量…11,090,429m³
総配水量のうち、水道料金収入が得られる水量。前年度に比べて約0.4%減少しました。
- 有収率…93.6%
水道の総配水量のうち有収水量の割合で高いほど良好な指標。前年度とほぼ同じ率でした。

決算の状況

収益的収支の決算	
収入	17億 1,210万円
支出	16億 6,932万円
資本的収支の決算	
収入	3億 6,773万円
支出	10億 3,954万円
内部留保資金残高 12億 6,213万円	

1年間の事業活動で得られる収益と費用を損益計算の形で表すもの。会社の経営成績

1年間に支出した施設の建設経費(施設建設のための借入金返済などを含む)とその財源となる収入

※内部留保資金は、過去からの利益(黒字)などの蓄積によって生まれた資金で、事業運営に必要な運転資金になります。